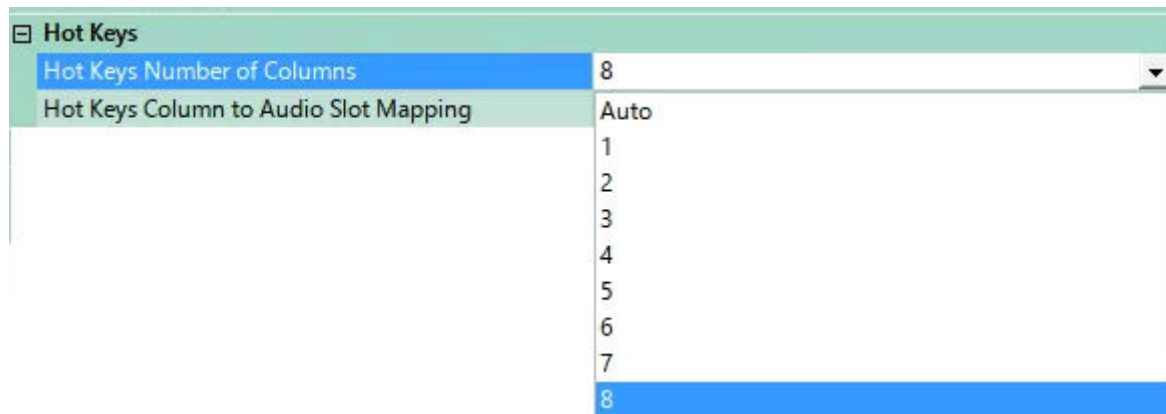


HotKeyを自動的に別々のスロットから出力する

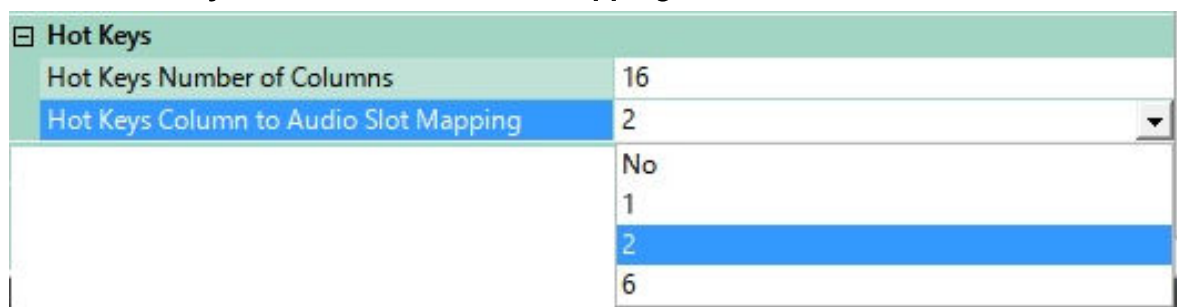
OvationのHotKeyの再生出力を自動的にMixerの別チャンネルに振り分けることができる機能があります。

Cue List Propertiesを開き、Hot Keysの中の

- **Hot Keys Number of Columnsを設定します。**



- **Hot Keys Column to Audio Slot Mapping をNo以外に設定します。**



【使用例 1】

8列を持ったHot Keysを作成し、16本以上のStereoモジュールを持ったMixerを作成します。

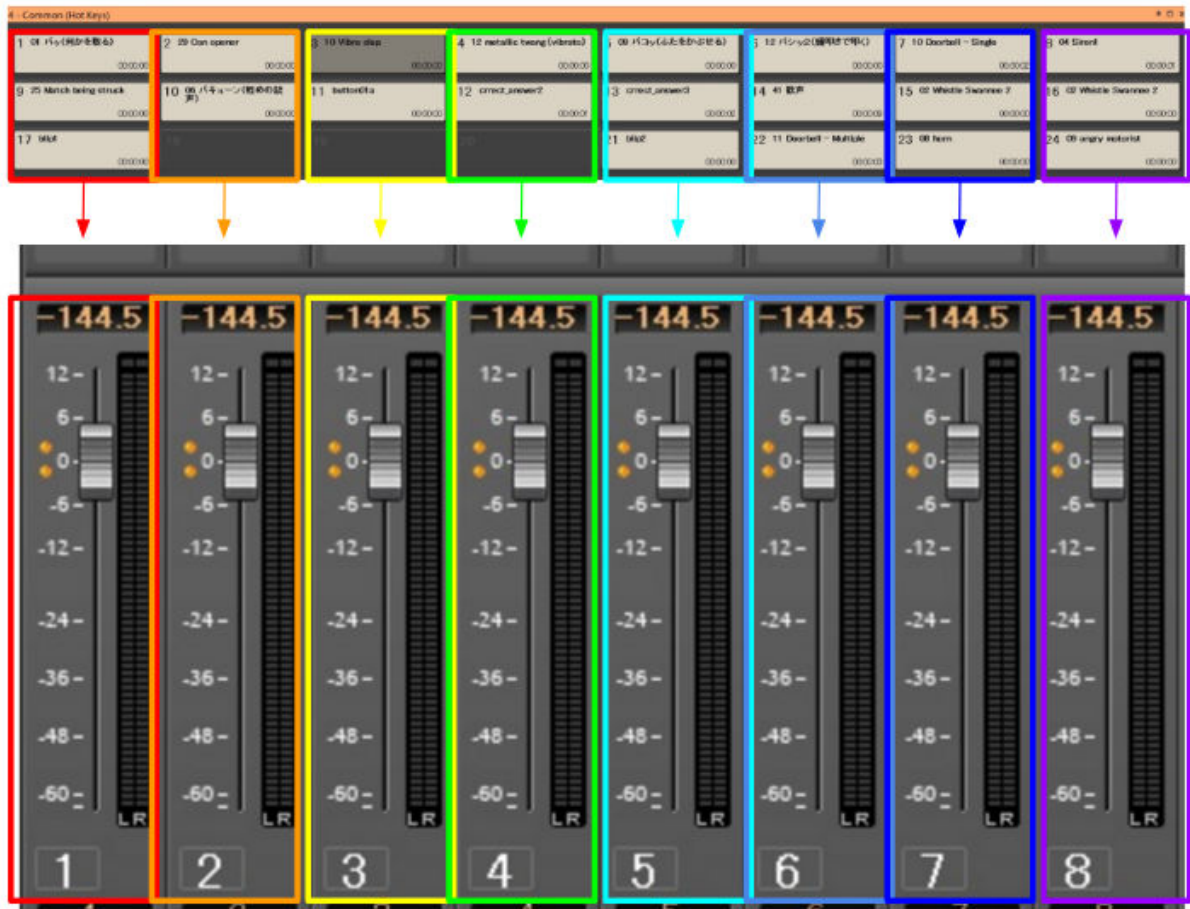
- Hot Keyの出力はMixerの1～8から再生する
- 2行め以降（9～16, 17～24）もMixerの1～8から再生する

という設定を行ってみます。

- 1) Hot Keyを新規に作成します。
- 2) Hot KeyのCue List Propertiesを開き、**Hot Keys Number of Columnsを8**に設定し、**Hot Keys Column to Audio Slot Mapping を2**に設定します。

※ Keys Column to Audio Slot Mapping に入れる数字は、“毎に”という意味となります。
ここで “2” を設定する意味は、ステレオのオーディオ ファイルを再生するという設定です。
モノ ファイルを再生するのであれば“1”に設定し、MixerもMonoモジュールに変更して下さい。
5.1ファイルを再生するのであれば“6”に設定し、Mixerも5.1モジュールに変更してください。

3) これにより、AのHot Keyの再生は下図の様に行われます。



【使用例 2】

【使用例 1】 の例で **Hot Keys Number of Columns** を **16** に設定すると、

- Hot Key 1~16は、Mixerの1~16に
- Hot Key 17~32は、Mixerの1~16に

という具合に16Keys毎に出力されます。これはHot Keyの表示を狭くして、1列に表示される下図が少なくなっても変わりません。

※ 注意

Cue List Propertiesの“**Hot Keys Column to Audio Slot Mapping**”を**No以外**に設定すると、“Cue Properties -> Audio -> Audio Output Slot”での設定や、“Audio Gain Matrix”の“Output Slot”の設定は無視されます。

ただし“Audio Gain Matrix”の“Matrix Size”の設定は有効です。